

# IMPÉRIO DE CASA VERDE

さてさて、こちらはまさに carnaval 直前!!! 今回は僕の所属する Império de Casa Verde( インペリオ・チ・カザ・ヴェルデ)との関わりを書かせていただこうと思います。

## 紹介

名称 : G.R.C.S.E.S. Império de Casa Verde

( G.R.C.S.E.S : Grêmio Recreativo Cultural e Social Escola de Samba )

Presidente : Alexandre da Costa Plumari

住所 : Av. Engenheiro Caetano Alves, 2042 - Casa Verde 電話 : 011-3951-4766

サイト : <http://www.imperiodecasaverde.com.br> チームカラー : 青×白 ( シンボル : トラ )

最近の結果 : 2005 年 : 優勝 2004 年 : 3 位 2003 年 : 11 位 2002 年 : grupo especial 昇格

## 出会い

はじめて足を踏み入れたのは、1年前の2005年1月22日の ensaio。確か、自分が samba をはじめるきっかけとなり、また Liberdade と出逢うきっかけとなった親友も一緒だったような...。ともかくも、この日のメモ書に「今後の自分の展望」がうんぬんって書いてあるから、やっぱりインスピレーションを感じたのは確かです。quadra 内で最初に声をかけたのは、青い素敵なスーツをまとったご年配の黒人男性の方。後で分かったのだけれど、diretor をまとめるトップ、carnaval では primeiro casal (M.S./P.B.)を指揮するポジション apresentador の方でした。英語が使える人で(ブラジルでは稀です)、この上なく紳士的な対応をしていただきました。振り返るとハラハラしますが、彼に「ここで Mestre-Sala したい!」なんて、いきなり大口をたたいて、目を丸くさせた記憶があります(あぁ、ほんと、ごめんなさい...)。でも彼と知り合えたことは本当に運のよいことでした。

## CARNAVAL 2005 チャンピオン

carnaval 2005、Império は初日の最後、つまり朝日を受けながらのパレード。ひとつ前の escola がバラを何万本もばら撒き(後で問題になったわけですが)、sambódromo の avenida が見事に真っ赤に染まってしまい(バラの色素がコンクリートに染み込んでしまったんですね...)。呆れていたところに Império 登場! 夜通しで見ているこちら体力と気力の限界を感じていましたが、それも吹っ飛ばす見事なパレードでした。テーマは「神は我々(ブラジル)と共にあるのに、誰が我々と対抗できようか」という、先進国への皮肉と、ブラジルへの賛美を謳うものでした。歌詞の後半の方に「誰かが我々の carnaval を見守っている...」という表現があって、いわゆる「神様」のことかなと思っていたら、最後尾の alegoria を見て理解できました。実は、Império の presidente は前年にある事件に巻き込まれて帰らぬ人になったのですが、その彼がシンボルのトラに取り囲まれて、Império を一番後ろから見守っているのです。最後の最後で感傷的な気持ちにさせられました。ある人類学者が言っていましたが、「carnaval は祈り」なのだと。一つの真実を見た気がします。そして、Império が優勝したのも当然のように思えます。

## 突入

まあ、ensaio の時点で突入だったわけですが、sambódromo のゴール地点にも警備員の目を盗んで突入しました(危)。最終番のパレードですから、ゴールした後も広場に roda をつくって batucada がしばらく続くんですね。quadra で知り合った彼を見つけて、とにかく「Parabéns!!!」を連呼して、感動を伝えました。どこからもぐりこんだのかも含めて、またまたビックリさせてしまいました(ごめんなさい...)。「とにかく今度のミーティングにきなさい」と言われ、その後、diretor 陣に顔を覚えてもらえる機会を得ることになったわけですが、実はそのミーティングの前にもう一つ大き



な出来事が。

carnavalの結果発表は Império の quadra で知ることになったのですが、優勝の祝杯で大混乱している中で、segundo casal にひっぱられ、よくわからないんですが、踊ってほしいと言われたんです。この時、pavilhão を一緒に掲げさせてもらった P.B.は今の僕の P.B.です。え...うそ...、と今でも思います。何かに背中を強く強く押されているような感覚でした。

#### 偶然

優勝の熱が冷めやまぬ carnaval 後のミーティングに参加させてもらい、diretor geral、diretor、harmonia の方々と知り合うことができ、ルンルン気分でした。シーズンは完全にオフになるし、全く samba な環境はなくなるし、Império は quadra が家から近いのに、遠い遠い存在。仕事に没頭しつつ、samba に関する発想もマイナス思考に。だって、仮にシーズンが始まったって、実力もないわけだし、今年来たばかりの言葉も不自由な外国人なわけだし、知り合いもいないし、M.S.のポジションって色んな事情が絡むわけだし、無理な話じゃあないですか...。もう連絡も来ないんじゃないか...。そんな日々が続いていました。そんな中で、職場のすぐその飲み屋で土曜日に pagode をやっていることを知り、気晴らしに通っていた時がありました。CDも出しているセミプロのグループだったのですが、自分のことを珍しがって可愛がってくれ、roda に入って pandeiro を叩かせてもらったりしていました。下手くそで、本当にごめんなさい...と謝りたい気持ちもありましたが、ブラジルって最高！って思った瞬間でもありました。それで偶然というのはそこで起こりました。そこでウェイターをしていた女の子が、ある日突然、「もしかして、あなたって Mestre-Sala? 私の義姉が探してるから連絡先教えて」って。要は彼女の親戚の方が、以前 quadra で躍らせてもらった、そして、今の僕の P.B.だったわけです。

#### 大失敗

そんなこんなで、ある festa で彼女と踊ららしい...ことになりました。どうやら、彼女がペアを組んでいた M.S.が Império とごたごたがあって escola を去ることになって、とりあえず festa で踊る M.S.を探していたわけです。そして当日、ここでうまく踊ることができれば、もしかするともしかする! ? と思いつながら、緊張の境地に。そして、ブラジルに来て全く練習する機会もなかったし、言葉の問題で彼女ともコミュニケーションとれないし、きちんとペアを組んで踊るのも実際のところはじめてなわけだし、あげくの果てに、この場で本当に踊るのかもよくわからない状態になっていたし、汗だらだら。まあ、結果として踊りましたが、彼女と全く合わない...(悲痛)。そして Império のその場の流れにも合っていない。それはわかるじゃないですか、彼女の顔を見ていれば。最初で最後のチャンスを失った...と落ち込みの境地。その後、diretor geral が黒人の背の高い M.S.を入れる意向があるような噂も聞き、もうほんと大撃沈。あの時は精神的にやられました。要するに実力がなかっただけなんですけれど。

#### 名誉挽回

でも、自分を取り巻くすべてのことにほんとうに感謝。あとでチャンスがもう一度あったんです。festa の大失敗の後、とりあえず職場の1週間の休暇を利用して Rio de Janeiro に行ってトレーニングをしたり、São Paulo の M.S./P.B.の学校に顔を出してみたりして実力を蓄積しました。ほんの短い間だったけど、そこで、最も大切なものをつかんだんです。そう、身体で知るひとつの哲学的な価値観。これは言葉ではなかなか説明できないもの。自分の今までの形を素直に恥じ、また心底からくる自信に溢れるようになりました。そして、Império で踊らせてもらう場がもう一度あったんですね。その結果は、今の自分の立場なのだと思います。Império を、pavilhão を、僕の P.B.を、心から愛することができたとし、踊りながら、samba の神様を見ていたような記憶があります。そして、自分の生まれてきた意味とか、そういうところまで考えさせられました。これ以上は語り尽くせないものですね...

その後も、casal としての実力をあげ、周囲から大きく注目されるようになり、トラブルや問題も発生せず、carnaval 2006 に Império の M.S.として出場することになりました(とはいえども、色々ありました)。Império を愛し、心は青と白に染まっています。今は Império の素晴らしいパレードに貢献すること、それだけを考えています。それが自分の喜びであり、使命なんだから。もっともっと目を広げれば、日系社会、ブラジル社会、そしてブラジルの歴史への参加なんだから。

ではでは~。carnaval 初出場、頑張ってきます!!! 応援よろしくお願いまーす! 翼